取扱説明書 ―― 保管用

yamada

屋外用・足下灯専用埋込ボックス

（コンクリート打放し仕上げ使用可能型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	適合する専用器具の品名
TG-347	AD-3247-L

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
🚫　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

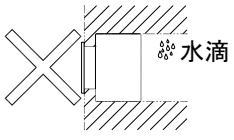
壁面埋込専用型
この埋込ボックスには専用の器具が取り付きます。取り付けの際には、専用器具（別売品）を別途ご用意ください。
専用器具の適合品番は上の「■仕様」の表をご覧ください。
★指定以外の器具は取り付けることができませんのでご注意ください。

⚠警告

❗ 必ず排水処理管工事を行ってください。
★水がたまり、火災や感電の原因となります。

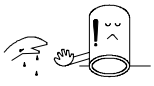
🚫 一般屋外用器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性のガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒、落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。
○壁面以外の場所（床面や土中埋設はできません）　○冠水する恐れのある場所　○雪で器具が埋没する場所
○背面から漏水の可能性のある場所　○凸凹のある面
★防水性が損なわれ、器具の破損による漏電、感電事故の原因となります。
○浴室など湿気の多い場所への使用。　○サウナへの使用。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。



🚫 ○設置の際は、指定方向以外の向きに取り付けないでください。
★防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。また器具の破損、焼損の原因となります。

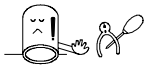
🚫 濡れた手で作業しないでください。
★感電の原因となります。



🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して発煙や発火の原因となります。

🚫 ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



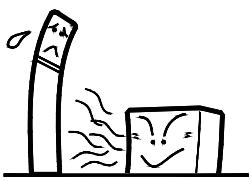
🚫 必ず適合器具と組み合わせて使用してください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

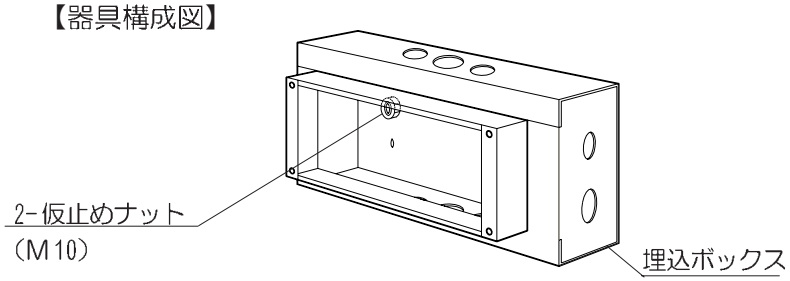
🚫 ヒビの入ったカバーや、一部欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。



各部の名称（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付 属 品 】

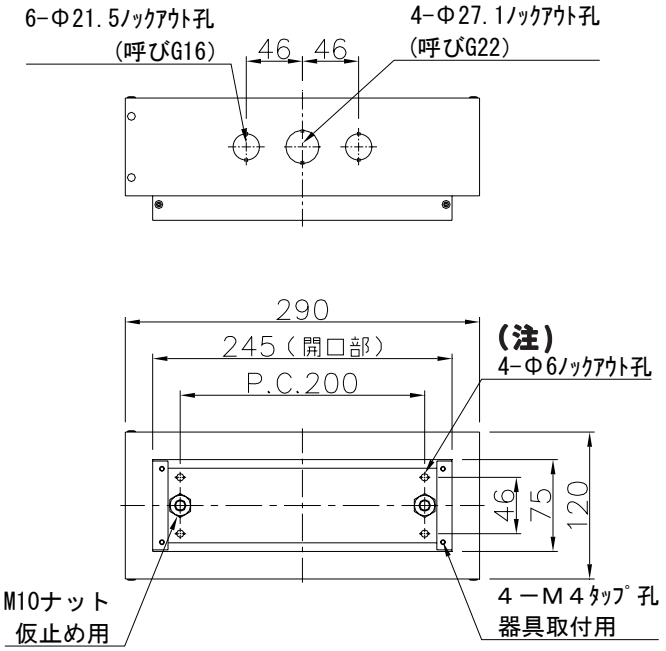
仮止めボルトセット　・・・・・2 セット

テンプレート・・・・・・・・・・・・１枚

取扱説明書（本書）　・・・・・１枚

保証とアフターサービスについて・・・１枚

【寸法図】



（注） このK.O孔は埋め戻し方法で
取り付ける場合に
使用する取付用です。
コンクリート打放し等の、
流し込みで取り付ける場合には
使用しません。

取り付け場所の確認

⚠ 警告

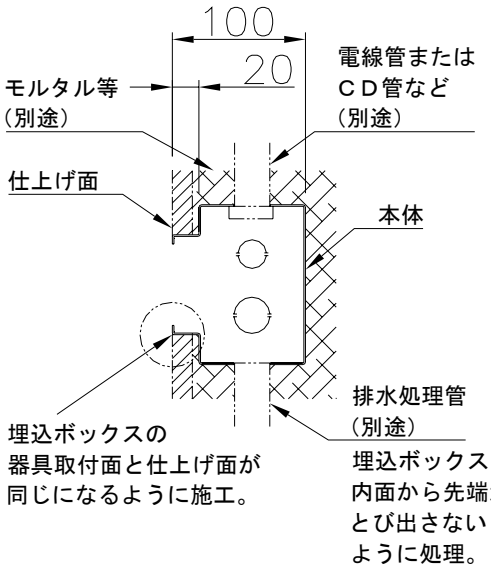
壁面埋込専用です。壁面埋込以外の床への埋め込みや土中埋設はできません。
凹凸のある壁面には取り付けないでください。
必ず排水処理管工事を行ってください。
防水性能と保つため、仕上げ面と埋込ボックスの器具取付面を必ず同一面に仕上げてください。
★水がたまり、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

この埋込ボックスには専用の器具が取り付きます。取り付けの際には、専用器具（別売品）を別途ご用意ください。
専用器具の適合品名は「■仕様」の表をご覧ください。
器具の取り付けは、専用器具の取扱説明書にしたがって、取り付けてください。
★指定以外の器具は取り付けることができませんのでご注意ください。

取り付け方 ⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や　火災、感電事故の原因となることがあります。



1．取り付けまえの確認

・埋込ボックスの設置および電線管・排水処理管の取り付けに必要なスペースを確保します。

2．埋込ボックスの設置

・埋込ボックスの位置決めを行い、電線管（ＣＤ管など）（別途）および排水処理管（別途）取り付けます。　左図参照

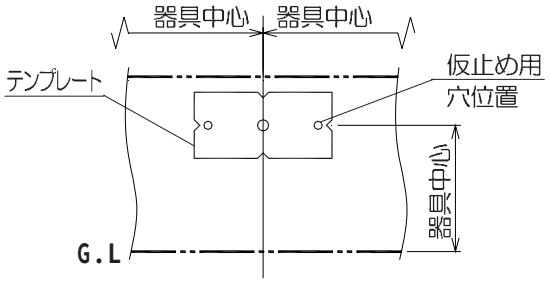
●取り付けには、本体の4-φ6K.0孔を使用してください。

・必ず排水処理工事を行ってください。
★不備がありますと、火災・漏電の原因となります。
・下側のノックアウト孔は排水処理専用です。電線管を取り付けないでください。

・埋込ボックスを水平になるよう設置し、埋込ボックスの周囲をモルタル等で動かないよう十分に固定してください。
・防水性能を保つため、埋込ボックスの開口部の端面と仕上げ面が同一面になるよう施工してください。

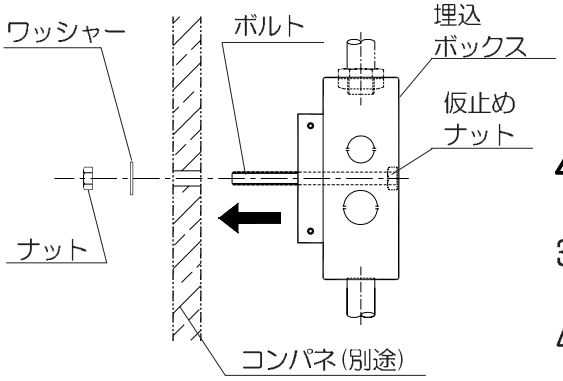
・埋込ボックスとコンクリートの間に隙間がある場合には、防水シール剤で防水処理を施し隙間をふさいでください。

コンクリート流し込みの場合



1．コンパネに仮止め用の穴を開けます。

器具を設置する位置のコンパネに、付属のテンプレートをあてがい
φ10～φ11の穴を2箇所開けます。



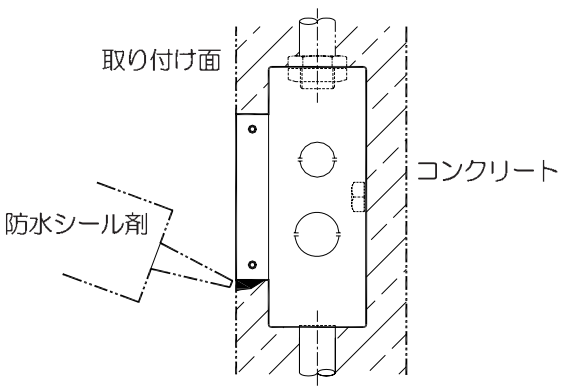
2．埋設ボックスをコンパネに取り付けます。

① 電線管・排水処理管を取り付けた後、付属のボルトを埋め込みボックス本体の仮止めナットにセットし、コンパネに開けた仮止め穴に通します。

② 付属のワッシャーとナットでコンパネに固定します。

⚠注意 ❗埋設ボックスは水平にセットしてください。
埋込ボックスが傾いている場合には、水平に直してください。

3．コンクリートを流し込みます。



4．コンクリートが固まったらナット・ワッシャー・ボルトをはずしてコンパネをはがします。

① 埋込ボックスとコンクリートの間に隙間がある場合には、防水シール剤で防水処理を施し隙間をふさいでください。

② 取り付け面からはみ出した余分なシール剤はヘラ等で落としてください。落とす際シール剤が本体内に入らない様にしてください。

⚠注意 ❗本体内に入った場合、ただちに拭き取ってください。
そのままにしておくと、シール剤が邪魔になり器具が取り付けられない原因となります。

③ はずしたナット・ワッシャー・ボルトは必要ありません。
破棄する場合、定められた方法で処分してください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。